

USER MANUAL

日本語マニュアル Ver. A

MAGNETO

—Four Head dTape Echo & Looper—

USER MANUAL

strymon[®]

Table of Contents

はじめに / 主な特徴	3
MODES と TAP ボタン	4-5
SPEED/PITCH とディレイタイム	6
オーディオ入出力	7
PLAYBACK LEVEL と FEEDBACK ON/OFF	8
プレイバックヘッドのメカニズム	9
エコーモードでのプレイバックヘッドのスペース	10
エフェクトレベル	11
プリセット パンニング オプション	12
カスタム パンニング	13
トランスポート コントロール	14
ピッチ クォンタイズ	15
セルフ オシレーション	16
コントロール ボルテージ 入力	17
コントロール ボルテージ クロック 出力	18
ディップ スイッチ	19
ブロックダイアグラム	20
スペック	21
品質保証に関して	22

Introduction (はじめに)

Magnetoは入力信号を予測不可能なサウンドに変化させ、音の世界を異次元の空間へ導いてくれます。複雑なハーモニックレイヤーや生み出される複雑なリズムが、ステレオイメージの中に繰り広げられ…テープマシーンをモチーフにした音色と操作機能は、ビンテージテイストとレトロ フューチャリスティックなソウルをあなたのユーロラックに吹き込みます。

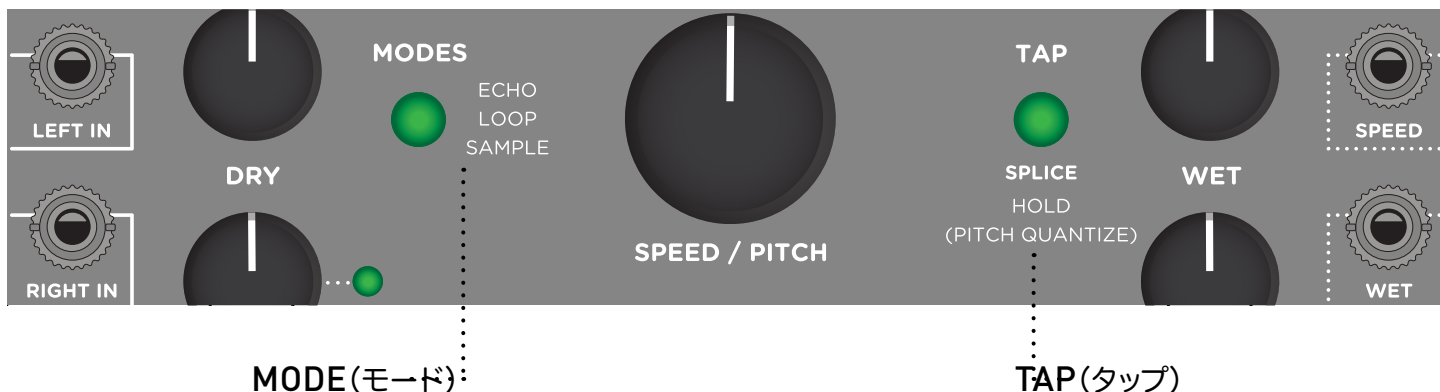
Magnetoはテープサチュレーション、セルフオシレーター、ピッチシフトディレイ、スプリングリバーブ、ルーパー、フレーズサンプラー、∞エコー、リバースなどのパワフルな機能を直感的に操作できるようにデザインしました。また、豊富なCV I/Oが複雑なライブパフォーマンスも可能にしてくれます。



Features (主な特徴)

- 4つの再生ヘッドと1つの録音ヘッドを備えたテープボイスのディレイ
- 高速演算が必要な strymon 独自の dTape アルゴリズムにより、非常に高いレベルでビンテージ・テープエコー・システムを再現しました。
- 3 オペレーションモード：エコー、サウンドオンサウンド・ルーパー、フレーズサンプラー
- ダイナミックマシンメカニック機能を備えたバリスピード・アルゴリズムを開発 (スピードレンジ 8 : 1)
- 入力レコードレベル (REC LEVEL) の設定で、クリーン～ウォーム～ファットの広レンジのサウンドを生み出します。
- 最長ディレイ / ループタイム：15 秒 (最大 SPEED) ~ 2 分 (最小 SPEED)
- トーン生成が可能なセルフ・オシレーティング
- リアルタイム パフォーマンスに最適なトランスポート コントロール (ボタン & CV 入力)
- 独立スプリングリバーブ
- 独立プレイバック (再生) ヘッド・レベルコントロール
- プレイバックレベルから独立したヘッド・フィードバックアサイン
- CV レンジクロック：50 ミリ秒 - 15 秒
- タップボタンレンジ：50 ミリ秒 - 15 秒
- タップ CV レンジ：10 ミリ秒 - 15 秒
- 位相整列クロック出力 (CLK OUT) CV と入カクロック同期

MODE と TAP ボタン



ECHO (エコー)、LOOP (ループ)、SAMPLE (サンプル) を切り替える MODES (モード) ボタンです。

テープマシンのヘッド間隔を変更し (テープスピードの変更なし)、ディレイタイムを調整するのと同様の設定を TAP (タップ) ボタンで行えます。

ECHO (エコー) モード (LED グリーンに点灯) : 4 ヘッドのテープマシンと同じ設定です。4 つの再生ヘッドと 1 つの録音ヘッドです。

ディレイタイムの設定はタップボタンを 2 回押します。

ノート:

テープスピードの設定にかかわらず、タップレンジは 50ms-15sec です。

TAP + TAP = Delay Time at Head 4

LOOP (ループ) モード : (LED オレンジ色に点灯)

サウンド オン サウンド・ルーパー

テープヘッド 1 ~ 3 が入力信号のディレイリピートを再生し、テープヘッド 4 がルーパーをプレイバックします。

ループ再生には、プレイバックヘッド 4 の FEEDBACK ON/OFF ボタンを必ず ON にしてください。

フレーズの SPLICE In (繋ぎあわせ開始) は TAP (タップ) ボタンを一度押します。SPLICE Out (繋ぎあわせ終了) には TAP (タップ) ボタンを再度押します。すると、新たなループのプレイバックが始まります。

TAP (タップ) ボタンをさらに押すと (3 回目)、録音したループは消去されます。

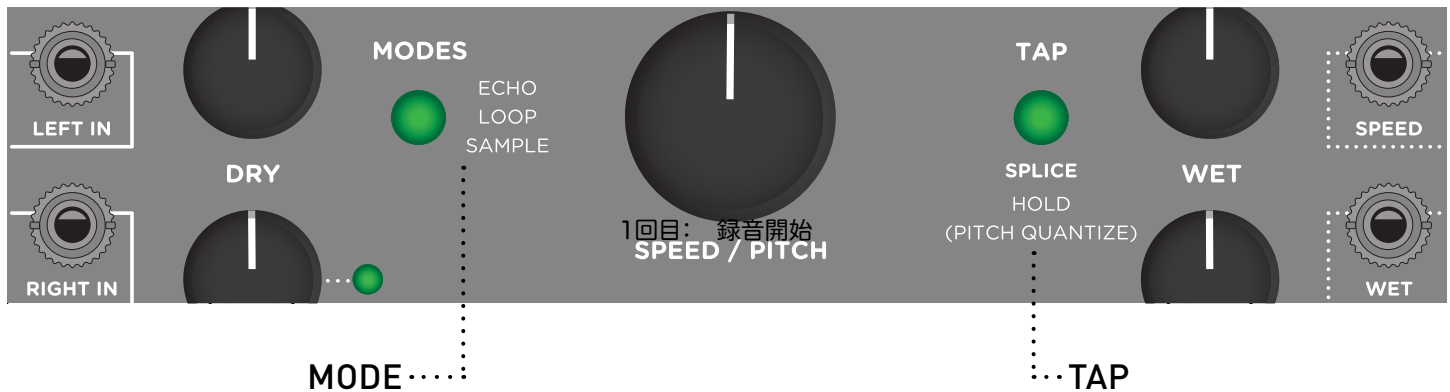
REPEATS (リピート) ノブは繰り返しのレベルをコントロールします。ループが繰り返される場合には、REPEATS (リピート) を低く設定してください。

TAP 1 回目 :
繋ぎあわせ開始

TAP 2 回目 :
繋ぎあわせ終了。新たなループのプレイバック開始。

TAP 3 回目 :
録音したループの消去

MODE と TAP ボタン (続き)



SAMPLE (サンプル) モード: (LEDレッドに点灯)
フレーズサンプラー機能がタップ中のフレーズを録音します。RESTART (▶)でフレーズのプレイバックをスタートします。

TAP (タップ) を一度押して録音を開始、再度押して録音終了、3度目でメモリーがクリアになります。

プレイバックはトランスポートボタンの RESTART または、RESTART CV 入力で行います。

ヒント: 録音したサンプルからトリガーするには、Connect CLK OUT 4 ~ RESTART CV を接続します。

TAP



1回目: 録音開始

TAP



2回目: 録音終了



トランスポートの RESTART (▶) でプレイバックする。



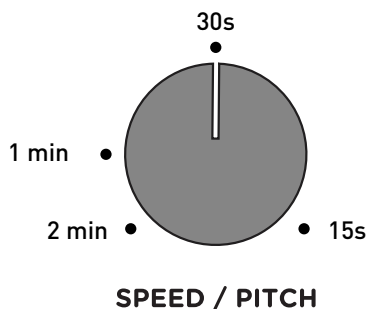
TAP



3回目: 録音したサンプルの消去

ノート:

LOOP (ループ) & SAMPLE (サンプル) モードでの SPLICE IN & SPLICE OUT (または、SAMPLE START & SAMPLE END) の時間は、テープスピードによって決定されます。



SPEED/PITCH とディレイタイム

TAP と SPEED/PITCHでディレイタイムを設定する。

アナログテープディレイのディレイタイムは、ヘッドの間隔とテープスピードで決まります。本機の場合はこれら二つの調整しませぬ。

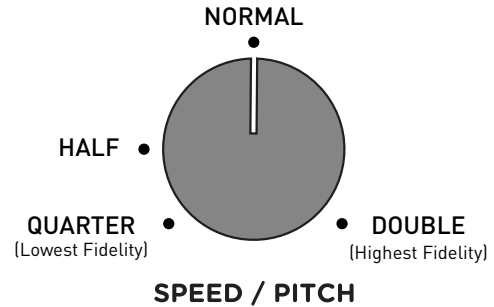
TAP ボタンはヘッドの間隔を変えてディレイタイムを変えるため、ピッチや音質が変わりませぬ。

SPEED/PITCHノブはテープスピードを変えるのと同じ操作でディレイタイムを変えるため、早くするとピッチが高く&ディレイタイムが短くなり、遅くするとピッチが低く&ディレイタイムが長くなります。

テープスピードが早くなると高い音質のディレイリピートになり、遅くなると音質は劣化します。遅いテープスピードでは、CRINKLE & WOW & FLUTTER コントロールの効果が鮮明に現れます。

SPEED/PITCH ノブのコントロール範囲は 8 段階 (1/4 ~ 2 倍) あり、12 時の位置でノーマルです。図をご参照ください。

ディレイレンジは 200 μ sec ~ 120sec です。



ノート:

最長ディレイタイムは、タッピングでの最長 15sec (秒) に SPEED/ PITCH ノブ最大 (double SPEED) で 30 秒になります。さらに、最小 SPEED/ PITCH 設定では、ヘッド 4 で 8 倍の 2 分 (240 秒) になります。

ノート:

最短ディレイタイムは、SPEED/PITCH ノブ最小 (1/4 SPEED) で 10ms クロック → TAP CV で設定できます。SPEED/PITCH を最大に回すとディレイタイムは、ヘッド 4 で 1.25msec に変わります。TRIPLET(HEADS) でのヘッド 1 は 1/6 になり 200 μ sec になります。

Audio I/O (オーディオ入出力)

入出力



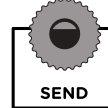
LEFT/RIGHT IN: L&R入力。
モノ信号はLEFT INを使用してください。



LEFT/RIGHT OUT: L&R出力。
モノ信号はLEFT OUTを使用してください。



FEEDBACK LOOP(フィードバック・ループ)

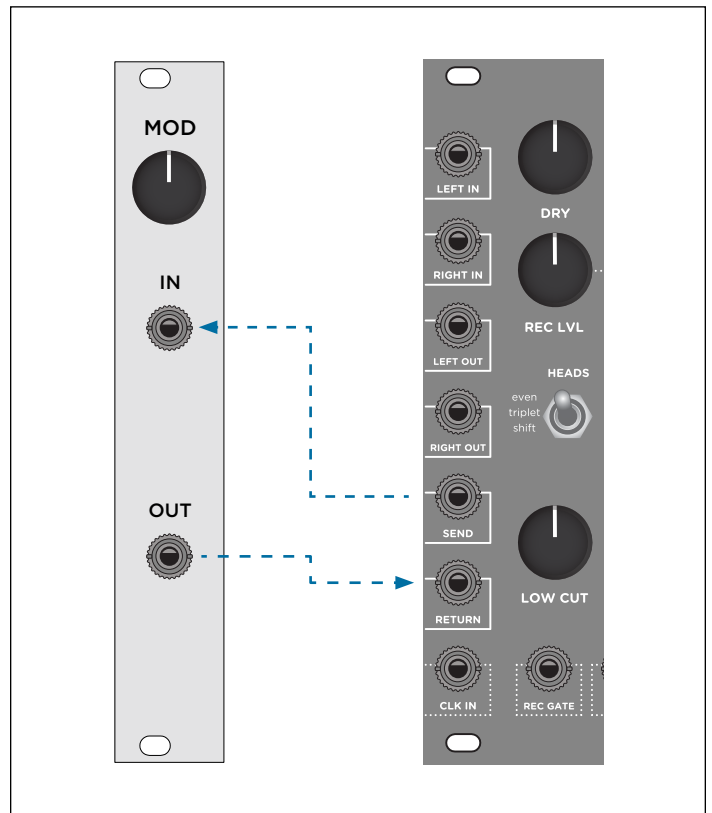


SEND: 本機で出力されるディレイ信号を外部で加工（プロセッシング）する場合、このSENDから信号を外部機器へ出力します。

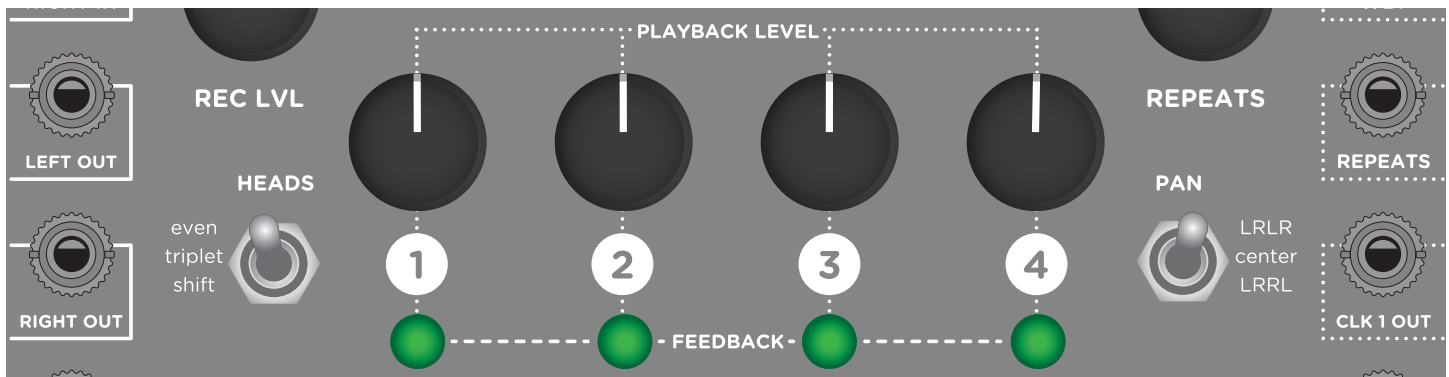


RETURN: 外部機器で加工（プロセッシング）された信号（ディレイリピート）を本機に戻し、ドライ信号とミックスします。

SEND/ RETURN が使用された際は、ディレイリピートはモノ信号です。ドライ信号はステレオイメージが保たれます。

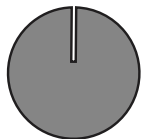


PLAYBACK LEVEL と FEEDBACK ON/OFF



PLAYBACK LEVEL (プレイバックレベル)

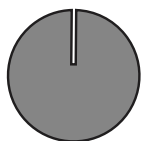
ノブ 1-4:
各ヘッドのディレイリピートのレベルをコントロールします。



WET

WET (ウェット) :

(プレイバックレベル後の) ディレイ信号全体の出力へのレベルコントロールを行います。



REPEATS

REPEATS (リピート) :

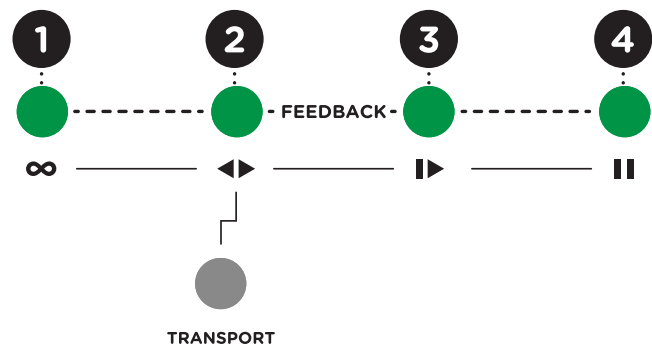
ディレイリピートのフィードバックレベルを調整します。FEEDBACK はオンにしてください。

FEEDBACK ON/OFF (フィードバックON/OFF)

録音ヘッドへの信号が、FEEDBACK ボタンのオン / オフで各ヘッドへの供給されるかが決まります。動作時はボタンがグリーンに点灯します。

例 1: FEEDBACK ボタン 1 がオフの場合は、プレイバックヘッド 1 のフィードバックは再生されません。

例 2: FEEDBACK ボタン 1 がオンの場合は、プレイバックヘッド 1 のフィードバックは再生されます。

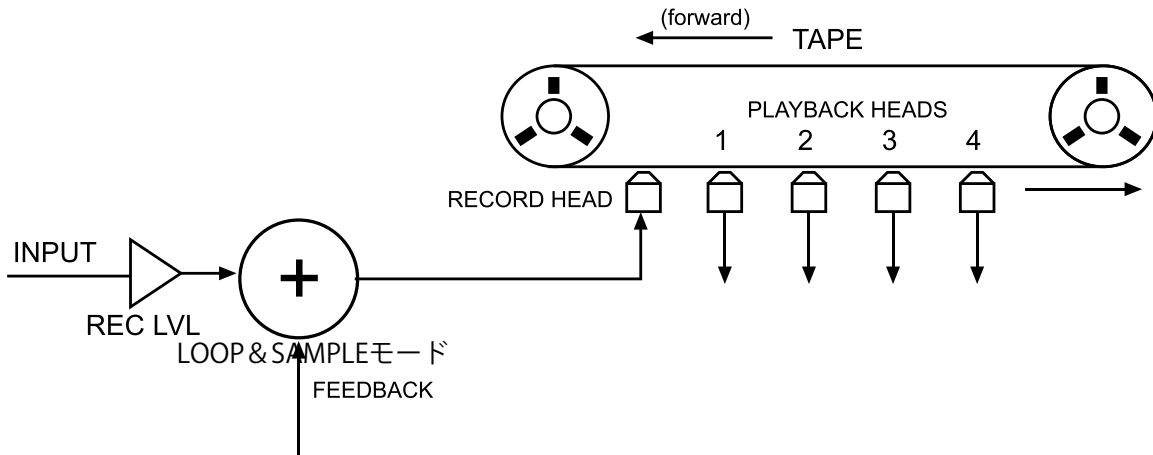


ノート :
PLAYBACK LEVEL ノブが『0』でもヘッドに信号は供給されます。

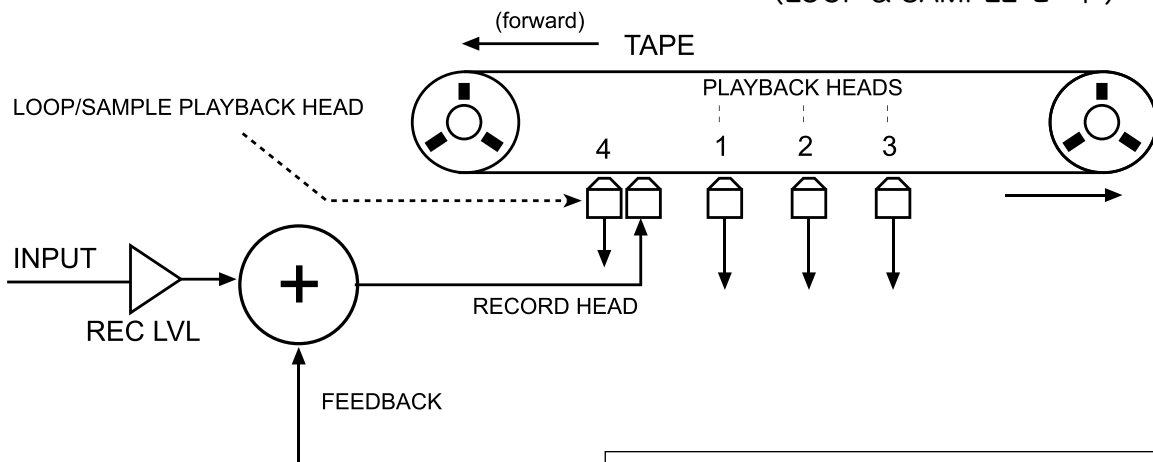
Playback Head Mechanics(プレイバックヘッドのメカニズム)

このセクションでは、ECHO モードと LOOP & SAMPLE モードの 4 x ヘッドのメカニズムについて説明します。

Head Configuration in ECHO Mode (ECHO モード)



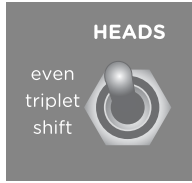
Head Configuration in LOOP and SAMPLE Mode (LOOP & SAMPLE モード)



ノート:

LOOP または SAMPLE のタイムは TAP IN/TAP OUT の間隔で決まり、ヘッド 1~3 のディレイタイムはこのモードに入った時のディレイタイム (または CLOCK IN CV) で決まります。

Playback Head Spacing In ECHO Mode (エコーモードでのプレイバックヘッドのスペース)



HEADS: テープヘッドは三つの異なるセッティングから選べます。

even (イーブン) 、 triplet (トリプレット) 、 shift (シフト)

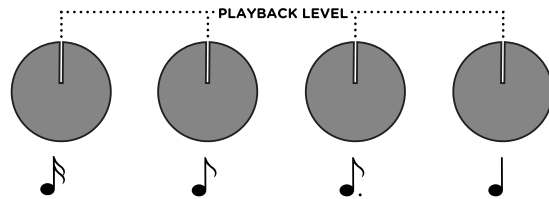
EVEN (イーブン) : 均一のヘッドスペース

Head 1: 16 部音符のディレイ

Head 2: 8 部音符のディレイ

Head 3: 付点 8 部音符のディレイ

Head 4: 4 部音符のディレイ



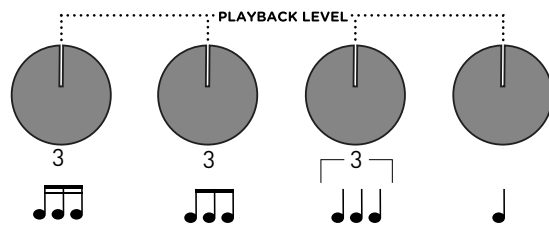
TRIPLET (トリプレット) : 3連符のヘッドスペース

Head 1: 3 連 16 部のディレイ

Head 2: 3 連 8 部のディレイ

Head 3: 3 連 4 部のディレイ

Head 4: 4 部音符のディレイ



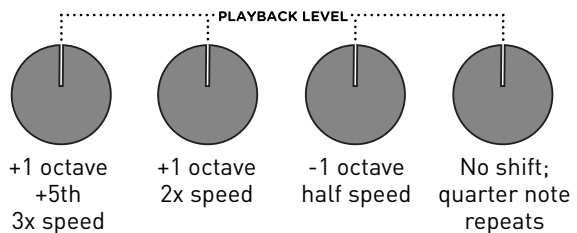
SHIFT (シフト) : LOOP & SAMPLEモードでは、以下のような再生スピードでピッチシフトしたリピート音が得られます。

Head 1: +1 octave+5th を再生 ; 3 倍速

Head 2: +1 octave を再生 ; 2 倍速

Head 3: -1 octave を再生 ; 1/2 倍速

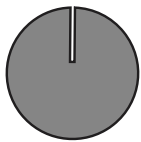
Head 4: 音程シフトなし 4 部音符ディレイ



ノート :

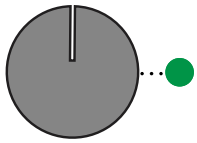
LOOP & SAMPLEモードでは、ヘッド1~3ディレイタイムはLOOP & SAMPLEモードに入った時のディレイタイムで決まります。ヘッド4のタイムはTAP IN/TAP OUTの操作で決まります。

Effect Level (エフェクトレベル)



DRY

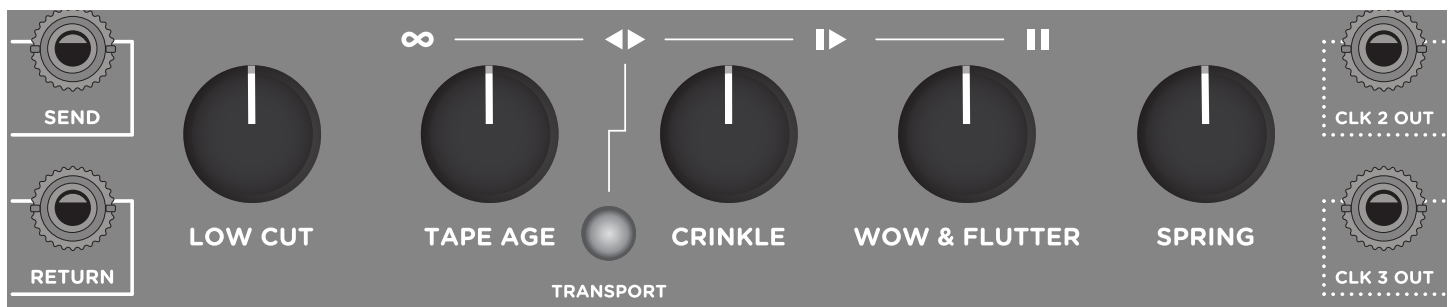
DRY: 入力信号（ドライ信号：プロセッシングされていない信号）の出力レベルをコントロールします。L&Rステレオ入力はL&Rステレオ出力へ、Lのみのモノ入力の場合は両L&R出力へ出力されます。



REC LVL

REC LVL: レコーディング（録音）ヘッドに入力される信号（プロセッシングされていない信号）レベルをコントロールします。LEDが信号レベルを表示し、ブルーの点灯は0ゲイン（レコーディングヘッドへ信号は送られません）、グリーンの点灯は低い信号（クリーン）、オレンジの点灯は信号のサチュレーションを示します。レッドの点灯は録音ヘッドが激しくサチュレートしていることを表しています。この場合、太く倍音が豊かで滑らかなトーンの信号がディレイラインへ送られます。

TAPE MECHANICS AND REVERB (テープマシーンとリバーブ)



LOW CUT: エコーのリピート音の低域を調整します。最小設定では十分な低域が伸び、最大になるに従って低域の再生されなくなります。最大セッティングでは、高い周波数のハイパスフィルターになりピーキーなサウンド特性になります。

TAPE AGE: テープの周波数帯域をコントロールします。最小セッティングで新品のテープと同じフラットな特性です。このコントロールを上げていくとウォームなリピート音になり、最大では少しピークの効いたフィルターの効いたサウンドになり、フィードバックを上げると独特の雰囲気があるリピート音を奏でてくれます。

CRINKLE: CRINKLE：摩擦、折り目、つなぎ目や汚れ等のテープの状態を再現するコントロールです。最小ではフレッシュでクリーンなテープ、最大では非常に劣化したテープを再現します。

WOW & FLUTTER: テープマシンのメカニズムによるスピードの変化を再現します。最小設定ではマシンはパーフェクトな状態です。最大設定では修理が必要な不安定な状態を再現します。

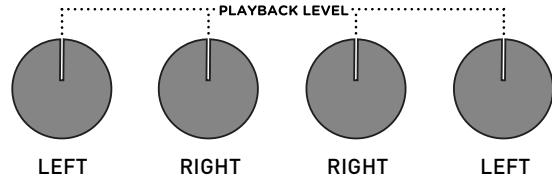
SPRING: 出力にスプリングリバーブの効果を追加するコントロールです。DRY & WET コントロールの設定がこのリバーブへの信号供給レベルです。

Preset Panning Options (プリセット パニング オプション)

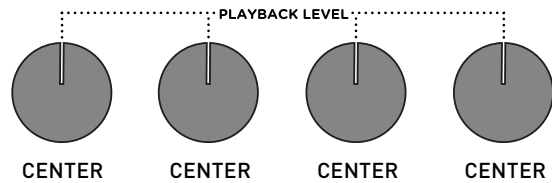


PAN: 3つのパニング オプションからモードを選びます。モノ出力で使用している場合は、すべてのヘッド信号はモノサム信号として出力されます。

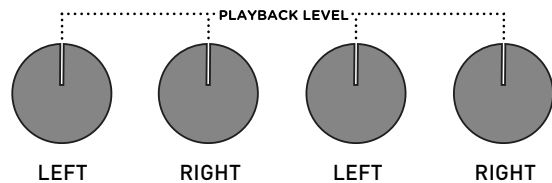
LRLR: 1 & 4ヘッドがLEFTに100%パンされ、2 & 3がRIGHTに100%パンされた設定です。



CENTER: すべてのヘッドがセンターの設定です。ステレオでモニターするとサイコアコースティックなステレオイメージが生み出されます。



LRLR: 1 & 3ヘッドがLEFTに100%パンされ、2 & 4がRIGHTに100%パンされた設定です。



Custom Panning (カスタム パンニング)

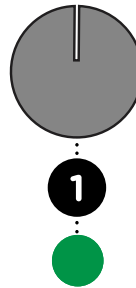
4ヘッドすべてがマニュアルでパン設定を決定できます。(スイッチはCENTER) 各ヘッドのパンニング設定は、FEEDBACK ボタンを押しながら PLAYBACK LEVEL で行います。この際は FEEDBACK ボタンはグリーンに点灯していることを確認してください。12時方向がセンターです。

ヘッド1のパンニング設定：

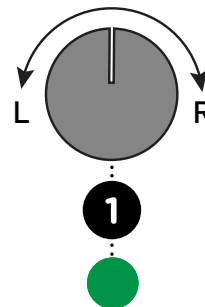
1. スイッチをCENTERにします。



2. PLAYBACK LEVEL 1の下にあるGREEN FEEDBACK ON/OFFボタン押しながらホールドします。



3. 図のようにPLAYBACK LEVEL 1でL~Rのパンを決めます。

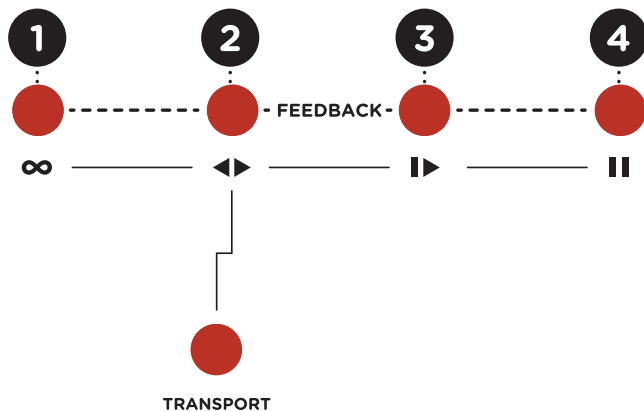


ノート：

すべてのヘッドがセンター定位の場合、ステレオでモニターするとサイコアコースティックなステレオイメージが生まれます。

TRANSPORT CONTROLS (トランスポート コントロール)

図のようなトランスポート機能が使用できます。TRANSPORT ボタンを押して使用します。各機能はLEDがレッドに点灯している時に動作します。



∞ INFINITE: 録音ヘッドは機能せず、再生されたばかりのディレイまたはループが連続してプレイされます。

◀▶ FORWARD/REVERSE: REVERSEはプレイバックテープの再生方向を反対にします。

ECHO モードでは、再度 REVERSE を押すまで全テープ長を逆回転で聴けます。

LOOP または SAMPLE モードでは、ループやサンプルが逆回転で聴けます。

▶ RESTART: LOOP または SAMPLE モードでは、それらのスタートポイントから再生されます。ECHO モードでは PAUSE からの再生は、マシーンラグゼロの再生が始まります。

|| PAUSE: プレイバックのスタート/ストップです。TRANSPORT & PAUSE がレッドに点灯している時、スローダウン/スタートアップの効果は、PLAYBACK LEVEL 4 ノブで調整できます。

SCRUB AUDIO: ポーズ中に SPEED/PITCH ノブでスクラビングできます。

ノート:
スクラブバッファは約 1ft 分のテープ長を保存します。そのオーディオ長は PAUSE 時の SPEED ノブのポジションにより異なりますが、遅いスピードの場合はスクラブバッファにより長いオーディオが蓄積されます。

SCRUB AUDIO: When tape is paused, the SPEED/PITCH knob scrubs audio.

ノート:

スクラブバッファは約 1ft 分のテープ長を保存します。そのオーディオ長は PAUSE 時の SPEED ノブのポジションにより異なりますが、遅いスピードの場合はスクラブバッファにより長いオーディオが蓄積されます。

MOMENTARY MODE: TRANSPORT ボタンを押したまま本機の電源を入れると、モメンタリー (レッド点滅) とラッチ (グリーン点滅) のトランスポート機能を切り替えることができます。CV コントロールは、Gate/ゲイト (レッド) または Trigger/トリガー (グリーン) へ切り替えられます。

例: テーププレイの逆回転再生は REVERSE ボタンをホールドした時だけ行われます。

RESTART はいかなるカスタム設定でも動作します。デフォルト設定はトランスポートスイッチは RESTART を除き、すべてラッチスイッチです。

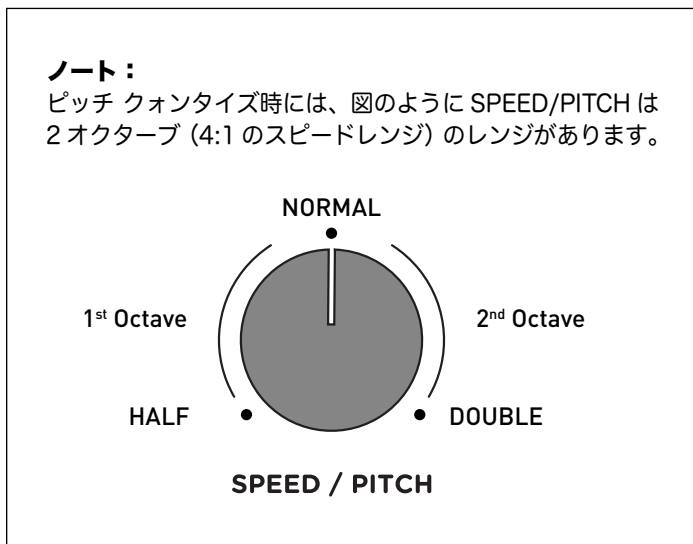
Pitch Quantize (ピッチ クォンタイズ)

TAP ボタンを押しホールドすると、TAP LED がオレンジに変わり PITCH QUANTIZE (ピッチ クォンタイズ) モードに入ります。

このモードは SPEED/PITCH ノブによる設定でスピードとピッチが変わります。

TRANSPORT ボタンを押しホールドしながら図のようにボタンを選ぶと、SPEED/PITCH ノブで15種類のスケールがプレイできます。各スケールは図を参考にしてください。

SPEED CV (スピード コントロールボルテージ) はSPEED/PITCHノブの位置にもよりますが、-3V~+3Vに反応します。Chromatic (クロマチック) の1.2オクターブレンジを除き、全てのスケールは2オクターブのレンジがあります。



	1	2	3	4
	∞	◀	▶	
	●	●	●	●
	●	●	●	●
Pentatonic	●	●	●	●
Minor Blues	●	●	●	●
Major	●	●	●	●
Dorian	●	●	●	●
Phrygian	●	●	●	●
Lydian	●	●	●	●
Mixolydian	●	●	●	●
Aeolian	●	●	●	●
Locrian	●	●	●	●
Harmonic Minor 5 th	●	●	●	●
Harmonic Minor	●	●	●	●
Whole Tone	●	●	●	●
Major in Octave jumps	●	●	●	●
Harmonic Series	●	●	●	●
Chromatic (1.2 octaves)	●	●	●	●

Self-Oscillation(セルフ オシレーション)

セルフ オシレーションはバラエティー溢れる発音を可能にし、Magnetot を楽器のようにプレイすることができます。セルフ オシレーションを使うには、SPEED/PITCH ノブを最小にし、REPEATS を 100% に上げます。

このセルフ オシレーションには入力信号は必要ありません。しかし、サウンドのトーンは入力信号が興味深い影響を与えてくれます。

本機でセルフ オシレーションを起こす場合は、SPEED/PITCH ノブと共にテープマシンの機能 (LOW CUT、TAPE AGE、CRINKLE、WOW & FLUTTER) も調整すると効果的です。これらのノブの調整で、発声するサウンドはピッチやトーンに大きな変化が生まれます。

発振音のピッチを固定には∞のボタンを押します。∞ボタンを押してもテープマシンの機能は音色に働きます。ピッチを固定した後もSPEED/PITCHノブ、またはSPEED CV入力でピッチを変えることができます。INFINITEの使用にかかわらずピッチ クォンタイズ モードは使用できます。

SPEED CV Input and Self-Oscillation (SPEED CV 入力とセルフ オシレーション)

SPEED CV 入力は 1V/ オクターブ (-3V ~ +3V レンジ内) に設定されています。SPEED CV に電圧が入力されると、SPEED/PITCH ノブポジションにその電圧が追加されます。0V の入力では、ノブポジションからスピード / ピッチがずれる要因にはなりません。

SPEED/PITCH ノブの効果のある電圧は、0V で最小、+3V が最大です。SPEED CV 入力はこれに追加されますが、上限が +3V (最速 / 最も高いピッチ) 下限が -3V です。SPEED CV の使用で 6 オクターブのレンジが得られ、SPEED/PITCH だけよりも 3 オクターブ下までレンジが広がられます。

Stereo Panning and Self-Oscillation (ステレオ パンニング&セルフ オシレーション)

PAN スイッチを CENTER にセットすると、発振音はステレオ イメージのセンターに定位します。PAN スイッチが LRLR 又は LRRR の場合は、それらの設定に従ってステレオイメージが再現されます。その場合は各ヘッドの再生レベルに影響を受けません。この方法でワイドなステレオイメージが作れます。しかし、LRLR 設定で 2 と 4 ヘッドの PLAYBACK LEVEL が最小だと信号は L チャンネルだけに出力されますので、ヘッドの再生レベル設定に注意してください。

ヒント:

非常に短いディレイタイムで∞ボタンを使用すると、ディレイバッファのエンドポイントで急激な減衰が発振音に倍音を加えてくれる場合があります。

ヒント:

成り行きに任せてみましょう。セルフ オシレーションは Magnetot 自身が動き出すような状態です。発声され変化していく状態を楽しみましょう。狙ったサウンドを作り上げていくより、成り行きに任せながら操作を試していきます。多くの場合、期待しなかった新たなサウンドへ導いてくれます。

Control Voltage Inputs(コントロール ボルテージ 入力)

CONTINUOUS CV INPUTS (-5V TO +5V)



SPEED : テープスピードをコントロールします。
(-3V ~ +3V、1V/ オクターブ)



WET : WET(ウェット / エフェクト音) レベルのコントロール



REPEATS : REPEAT (リピート) をコントロールします。



SPRING : SPRING (スプリングリバーブ) レベルをコントロールします。

ヒント:

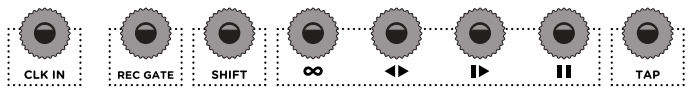
ソースのGATE (ゲイト) 信号からRESTART CVへ繋ぐと、ヘッド3はレイテンシー (遅れ) のないオクターブ下の音が再生できます。(SHIFTモード)

ヒント:

コンティニューアス CV入力に関連したノブは、CV入力とミックスされたオフセットのような働きをします。

CV INPUTS (0-5V RISING EDGE TRIGGER)

(CV 入力 0-5V 立ち上がりエッジ)



CLK IN: S4部音符単位のディレイタイムを設定します。(0-5v立ち上がりエッジ) クロック幅レンジは50ms~15sです。

REC GATE: 録音ヘッドのオン/オフをコントロールします。ディレイラインへの入力信号がミュートされると、REC LVLのLEDがブルーに点灯します。

SHIFT: 再生ヘッドのオン/オフ切り替えを行います。

INFINITE (∞): INFINITE(∞) のオン/オフ切り替えを行います。

FORWARD/REVERSE (⏪): FORWARD/REVERSEトランスポート機能を切り替えます。

RESTART (⏩): RESTARTトランスポート機能を切り替えます。

PAUSE (⏸): PAUSEトランスポート機能を切り替えます。

TAP: TAPボタンの機能をコントロールします。ECHOモードではディレイタイムを決定、LOOPモードではスプリングのin/out/clear。SAMPLEモードでは録音start/stop/clearを決定します。

ヒント:

SHIFT ヘッドモードでシーケンスまたはクロックシステムで使用する際、同期クロックを RESTART CV へ送り、入力と同期するリズムピッチディレイを生み出します。

Control Voltage Clock Outputs (コントロール ボルテージ クロック 出力)



CLK 1- 4 OUT は再生ヘッド 1-4 のクロック出力です。ヘッドセットスイッチと ECHO/LOOP/SAMPLE モード設定によりますが、出力のクロックはデューティ比 50% で、位相は入力クロック又はタップ信号に合っています。



以下の例は、クロック又はタップディレイが 1000ms の場合です。



ECHO MODE (エコーモード)

EVEN:

CLK 1 OUT : 16 部音符クロック出力 (ex. 250ms)

CLK 2 OUT : 8 部音符クロック出力 (ex. 500ms)

CLK 3 OUT : 付点 8 部音符クロック出力 (ex. 750ms)

CLK 4 OUT : 4 部音符クロック出力 (ex. 1000ms)

TRIPLET:

CLK 1 OUT : 三連 16 部音符クロック出力 (ex. 167ms)

CLK 2 OUT : 三連 8 部音符クロック出力 (ex. 333ms)

CLK 3 OUT : 三連 4 部音符クロック出力 (ex. 667ms)

CLK 4 OUT : 4 部音符クロック出力 (ex. 1000ms)

SHIFT:

CLK 1 OUT : 三連 8 部音符クロック出力 (ex. 333ms; 3x speed)

CLK 2 OUT : 8 部音符クロック出力 (ex. 500ms; 2x speed)

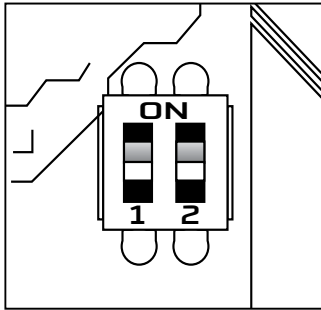
CLK 3 OUT : 2 部音符クロック出力 (ex. 2000ms; half speed)

CLK 4 OUT : 4 部音符クロック出力 (ex 1000ms; full speed)

LOOP & SAMPLE モードでは、CLK1、CLK2、CLK3 は ECHO モードと同じです。しかし、CLK4 はループまたはサンプル長クロック出力です。

DIP Switches (ディップ スイッチ)

図のようなディップ スイッチが基板上にあります。これらの設定変更する際は本機をラックから取り外してください。



S1 - FEEDBACK CV MODE:

(スイッチ1 フィードバックCVモード)

ON: トランスポートLEDが点灯していない間にCV ジャックが接続されて、FEEDBACK ON/OFFボタンがCVトリガーコントロールされます。トランスポートLEDがレッドに点灯はトランスポートをCVトリガーコントロールします。各トランスポートCVはTransportまたはFeedback ON/OFFにもアサインできません。

OFF: CVジャックが接続されると常にトランスポートのCVコントロールです。(デフォルト設定です)

S2 - DUAL SPLIT MODE:

(スイッチ2 デュアル スプリット モード)

ON: Lオーディオ入出力がテープディレイ、R入出力がスプリングリバーブです。

OFF: ステレオ入出力。ディレイ信号がスプリングリバーブへ入力されます。(デフォルト設定です)



LEFT IN - ディレイ入力



RIGHT IN - ディレイ入力

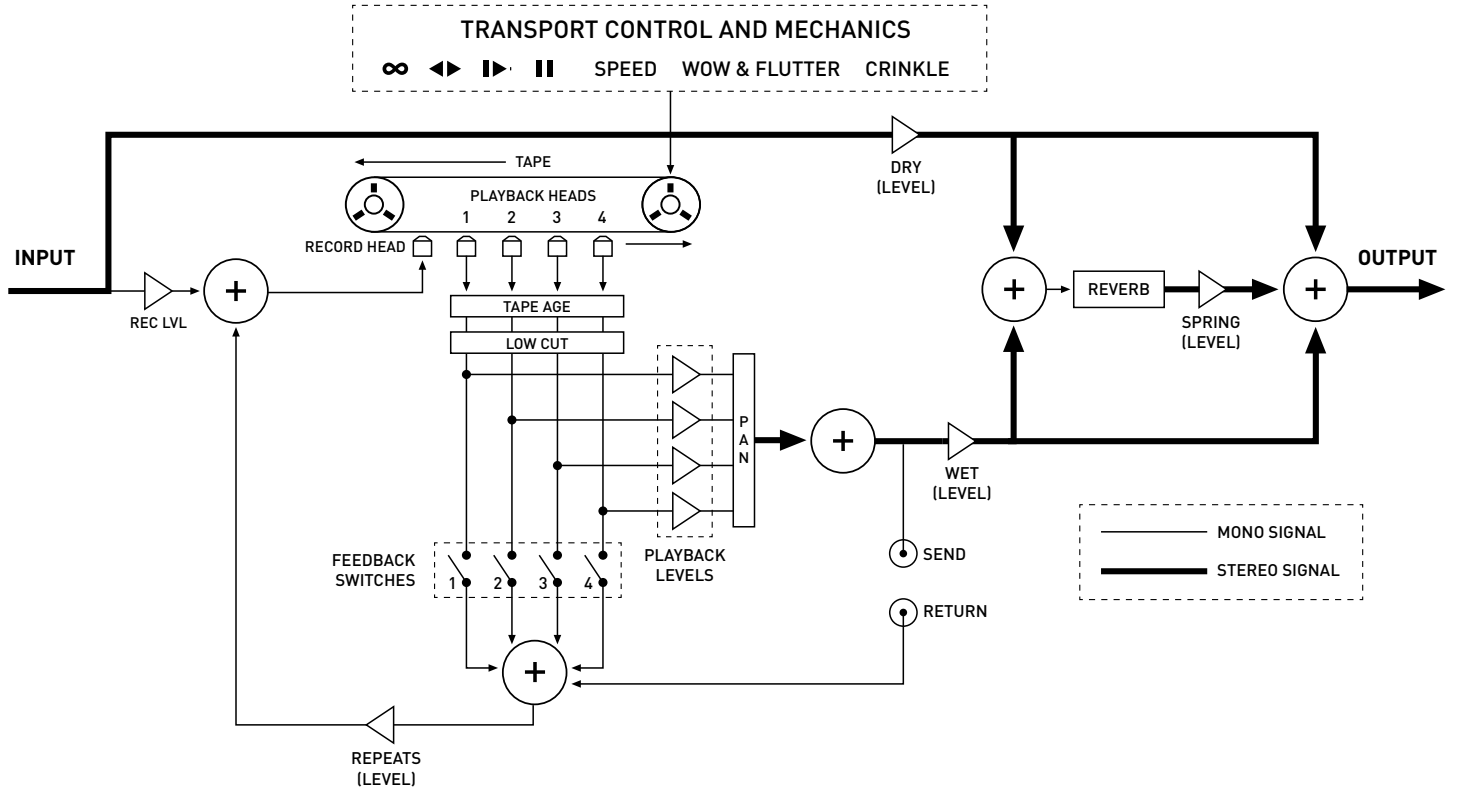


LEFT OUT - リバーブ入力



RIGHT OUT - リバーブ出力

Block Diagram (ブロックダイアグラム)



Specifications (スペック)

- ・ 電源
 - ・ +12V rail: 210mA
 - ・ -12V rail: 210mA
 - ・ +5V rail: 0mA
- ・ ラック幅: 28hp
- ・ ラック深: 41mm, 1.61"
- ・ サンプリングレート: 96kHz
- ・ オーディオ入カインピーダンス: 22 kOhm
- ・ 最大オーディオ入力レベル: 20 Vpp
- ・ オーディオ出カインピーダンス: 1 kOhm
- ・ 最大オーディオ出力レベル: 20 Vpp
- ・ S/N: 114dB typical

■品質保証に関して

本機は、Strymon 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社がお購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品には、シリアルナンバーが登録されています。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。
本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合がございます。必ず本書に基づいた使用方法で使用して下さい。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行ってください。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。

修理が必要な場合は、ご購入先もしくは、弊社へご依頼下さい。

Web : www.allaccess.co.jp Mail : support@allaccess.co.jp

Strymon 正規輸入販売代理

AAI

All Access International Inc.

本 社 東京都渋谷区桜丘町30-4-404
名古屋オフィス 愛知県あま市四反田27番地

お問い合わせはこちら

Mail support@allaccess.co.jp

WEB www.allaccess.co.jp